

8/15

平成10年(1998年) No.676

# むこう 広報

広報「むこう」は、朝刊5紙に新聞折り込みしています。  
届いていないご家庭には、郵送しますので秘書広報課へ連絡してください。  
内線240

●発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20) ●編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111

## 忘れません 平和の大切さ 生命の尊さ



子ども達から平和の折り鶴を受け取る岡崎市長

7月30日市内の保育所の子ども達が、岡崎市長に折り鶴を手渡しました。この折り鶴は、子ども達が

### 届け 平和の願い 広島へ 折り鶴五万羽



平和折念式で市民から寄せられた折り鶴を捧げる市民代表

8月15日は終戦記念日です。  
悲惨な戦争の記憶が風化しつつある今日、今一度、平和の大切さ、生命の尊さを見つめ直してみましょう。

向日市は、昭和59年11月3日に全世界に核兵器の廃絶と軍縮、恒久平和を願い「世界平和都市宣言」を行いました。この宣言以来、3次にわたる平和行動計画を策定し、戦争の惨禍と平和の尊さを次の世代に正しく伝えるため、平和施策の充実を図ってきたところです。

毎年実施している広島市平和折念式への市民代表の派遣や「市民平和と人権のつどい」の開催など数多くの平和事業が行われてきました。

この催しは、戦争の悲惨さや平和の尊さ、また、様々な

ツルの折り方を保育に教わりながら、約8、300羽を平和の願いを込めていねいに作り上げたものです。

8月6日に行われた広島市平和折念式に、市民代表が市民から寄せられた折り鶴と合わせて約五万羽を、平和記念公園にある原爆の子の像に捧げました。

皆さまからの多くの折り鶴のご提供ありがとうございます。

■申込み 西向日コミセン(☎921-0066)または健康文化課(内線519)

### 平和学習ビデオをご利用ください

8月、9月は、西向日コミュニティセンターで平和学習ビデオを無料で貸し出しています。市役所健康文化課でも貸出の予約とビデオの受け取り・返却ができますのでご利用ください。

「ヒロシマに一番電車が走った」「美しい地球をよこさないで」「猫は生きている」「はだしのゲン1・2」など多数

インド、パキスタンへ核実験に抗議する 声明文を送付

本年5月に相次いで核実験を強行したインド、パキスタン両国に対して、向日市長名、向日市議会議長名で、「今後いかなる理由があろうとも核実験を停止するよう強く求める」とした抗議声明文を直ちに送付しました。

人権問題について考えていたため、毎年この時期に開催しているものです。

つどいでは、まず、岡崎市長から平和への誓いをこめたいさつがあり、引きつづいて、今年の広島市平和折念式に参加した市民代表が、折念式での感想などを報告しました。

その後、人権強調月間記念映画「ユキエ」の上映に先立ち、監督である松井久子さんの映画解説が行われ、映画製作の苦労話に、会場を埋めた参加者が聞き入っていました。

また、会館のロビーでは、反核風刺漫画による「反核アート展」も行われました。

今後も市では、平和の尊さ、大切さを伝える事業を展開していきます。

## 198かぐや姫行列

### 参加者募集

11月15日(日)向日市まつりと同時開催される「かぐや姫行列」の参加者を募集します。この「かぐや姫行列」は、「かぐや姫」「竹取の翁」など竹取物語の登場人物に扮した市民の時代衣装行列で、今から約1200年前の都「長岡京」の政治の中心地として栄えた当地に、往時の装束が甦り、華麗な王朝絵巻が展開されます。あなたもいにしへのロマンを再現する「かぐや姫行列」に参加してみませんか。

▷日時 11月15日(日)午前11時10分～正午(小雨決行)

▷コース 長岡宮大極殿公園～向日町競輪場～向日市まつり会場(約1km)

▷募集内容 内容は右表のとおり。ただし、かぐや姫役、稚児については市民に限ります。また、かぐや姫役は11月7日(土)に鹿児島県宮之城町で開催される「かぐや姫サミット」にも参加可能な人。

▷抽選会 応募者多数の場合は、9月20日(日)午前10時から市民会館で抽選会を行います。本人または代理人が出席してください。

▷応募方法 はがきに希望する役名・住所・氏名・年齢(学年)・性別・職業または勤務先(学校名)・電話番号を記入し、9月11日(日)までに〒617-8665 向日市まつり実行委員会事務局「かぐや姫行列」係(内線519)へ。



役名	人数	対象
かぐや姫(十二単)	1名	市民
竹取りの姫	1名	身長150cm以上の
女官(朝服)	2名	
物語姿(市女笠)	2名	
平安女官	2名	
白拍子(烏帽子太刀)	2名	
童女(かぐや姫の幼少時代)	2名	小学4~6年生
胡蝶姿	2名	
竹取りの翁	1名	身長150cm以上の
白丁(輿を担ぐ・引っ張る)	8名	
衛士(かち衣姿)	2名	
公卿(直衣姿・かぐや姫の求婚者)	1名	
公家(狩衣姿)	2名	
童子(水干童)	2名	小学4~6年生

稚児 市内在住の5~10歳の男女各5名  
※保護者などの同伴者(なるべく着物で)が必要。  
稚児衣装は、主催者で用意します。